

第 1 回沖繩鉄軌道市町村会議(中部)

日時：平成 27 年 5 月 27 日(水) 14:00～16:00

場所：中部合同調査 4 階第 1・2 会議室

■ 出席者（敬称略）

所属	氏名	備考
沖縄市建設部都市整備室 副技幹	池亀 孝	代理
沖縄市建設部都市整備室	玉城 一司	
沖縄市企画部政策企画課 副主幹	渡慶次 雅人	
うるま市企画部企画課 課長	宮城 為治	
宜野湾市企画部企画政策課 技幹	高江洲 強	
宜野湾市建設部都市計画 係長	普天間 朝信	
嘉手納町企画財政課 係長	橋口 美由紀	
北谷町企画財政課 技幹	田仲 康児	
北谷町企画財政課 係長	勢理客 一之	
北中城村企画財政課 統合調整監兼課長	石渡 一義	
北中城村企画財政課 係長	安次富 規昭	
中城村企画課 課長	与儀 忍	
西原町総務部企画財政課 主任主事	上野 良太	

■ 議事

1. 開会
2. 沖縄鉄軌道市町村会議設置設置要綱について
3. ステップ 2 の検討内容について
4. 質疑応答及び意見交換
5. 閉会

《 議 事 メ モ 》

発言者	発言
北中城村	<p>鉄軌道の整備に時間を要するので、フィーダーを先に整備するという意味合いで短中期にフィーダーバスが記載されているのか。</p> <p>⇒短中期は、現在取り組んでいる基幹バス、長期は鉄軌道へのアクセスとしてのフィーダーというイメージ。</p> <p>高齢者も含めた県民の視点というのはよい考えだと思うので、人口推移も一緒に示した方がわかりやすい。駐留軍用地跡地のまちづくりのインパクトは大きいと思う。評価項目に施工性があるが、実際の工事よりも用地買収や都市計画決定の手続きの方が時間がかかると思うので、その点は留意した方がよい。</p> <p>⇒将来の人口予測値を考慮した利用者予測を行うこととしているので今後示していきたい。施工性については同様に認識している。</p>
北谷町	<p>地方人口ビジョンで2060年までの人口を把握するようになってきているが、将来人口が減少し、自動車の交通量が減る可能性もあり、また高齢者が圧倒的に多くなる。資料にフィーダーのことが記載されているが実現性はどの程度あるのか、自治体としてはまちづくりを行う上での判断材料となる。</p> <p>⇒どのようなまちづくりを行い、どのように交通を整備するかは市町村の判断が重要と考えている。</p> <p>交通結節点をつくるとなると、それなりの土地を確保する自治体には大きなポイントとなる。</p> <p>⇒どこに交通結節点を整備するかも含めて、今後の議論の中で検討する必要がある。</p>
沖縄市	<p>資料には駐留軍用地跡地でのコンパクトな市街地形成がうたわれているが、私たちは既に既成市街地の活性化に取り組んでいる。鉄軌道のルートは跡地を通すべきと考えているのか。</p> <p>⇒必ずしも跡地を通すわけではない。跡地の開発を支援するという意味で記載している。</p> <p>基幹バスが通る国道330号を軸に支線バス網の整備を考えているが、将来的にも国道330号が基軸となるのか。</p> <p>⇒330号が基軸になるかは現時点ではわからない。ただし、基幹軸ができればフィーダーが必要となる。支線バス網の整備は、時宜に応じた対応が今後も必要と思う。</p>

発言者	発言
沖縄市	<p>県で公共交通網形成計画作成の予定はないか。</p> <p>⇒那覇市、浦添市、宜野湾市、沖縄市地域公共交通総合連携計画において、基幹バス導入に向けた取組が行われているが、バス事業者と調整を図りながら形成計画への移行も含め連携計画の見直し検討を行うこととしている。それ以外の市町村からの計画策定の情報はなく、把握していない状況。</p>
北谷町	<p>沖縄本島の将来像において中南部の拠点として那覇、普天間等が記載されているが、決定事項か。</p> <p>⇒沖縄県総合交通体系基本計画で既に決定されている内容を示している。</p> <p>具体的にはどの程度の計画案となるのか。</p> <p>⇒概略計画として、起終点の概ねの位置やルート、システム、駅数や駅位置の考え方、構造などを示す内容となる。</p> <p>構想段階であっても市町村では実現するかどうかが気になるところだ。</p> <p>⇒実際の事業化となるとかなり息の長い取組となる。現在は事業化の前の段階である。</p>
うるま市	<p>委員会での検討内容について情報提供してもらえるのか。</p> <p>⇒検討のステップ毎の情報を提供する。</p> <p>市町村の意見を委員会にあげることになるのか。</p> <p>⇒そのようになる。</p>
宜野湾市	<p>今後返還される普天間飛行場は、鉄軌道の有無で跡地利用が変わってくる。普天間飛行場を通る場合、返還のスケジュールを見て検討するのか。</p> <p>⇒普天間跡地の委員会に県も参加しており、情報共有を図っている。普天間飛行場跡は大きなインパクトのある場所だと認識している。</p>
沖縄市	<p>ステップ 5 までのスケジュールが示されているが、会議は何回開催されるのか。</p> <p>⇒PI 毎に市町村会議を開催し、市町村からの意見は委員会に報告する。</p> <p>沿線市町村の役割として、駅の位置等が決まると市町村はまちづくりを考えることになるが、どのように計画には記載されるのか。</p> <p>⇒事業化前なので、概ねの駅位置の考え方を示す。</p>

発言者	発言
北谷町	設置要綱では意見交換となっているが、関わり方がよくわからない。 ⇒ステップ3以降になるとルート等の考え方、複数のルートの絞り方等について各市町村の考え方を示していただくことになり、その意見は委員会へ報告することになる。また、フィーダー交通については市町村の関わりは大きいと考えている。